

## 情報サービス演習II 第10回 新聞記事・統計の探し方

鶴見大学 非常勤講師  
江草由佳  
(国立教育政策研究所 総括研究官)  
yuka@nier.go.jp

1

## 今日のお品書き

- 新聞記事の探し方
  - オンライン・データベース
  - 新聞社のWebサイト
  - ニュースサイト
  - 新聞の縮刷版
  - 新聞所蔵目録
  - 現在の新聞および新聞社に関する情報
- 統計の探し方
  - 総務省 統計局・政策総括官(統計基準担当)・統計研修所
  - 政府統計の総合窓口
  - 白書・年次報告書等
  - 専門分野の統計情報
- 第11回演習課題: 新聞記事・統計の探し方

2

## 新聞記事・ニュースをさがしたい。 例えば...

- とある記事の新聞の原紙が見たい。どこで所蔵しているか?
- とある記事を読みたい。できれば、オンラインで。
- とあるニュースの最新情報を知りたい。
- いろんな記事やニュースをまとめて検索したい
- 当時の新聞そのものを見たい
- 新聞広告を見たい
- ある特定テーマから新聞をさがしたい
- 現在、売られている新聞って何がある?

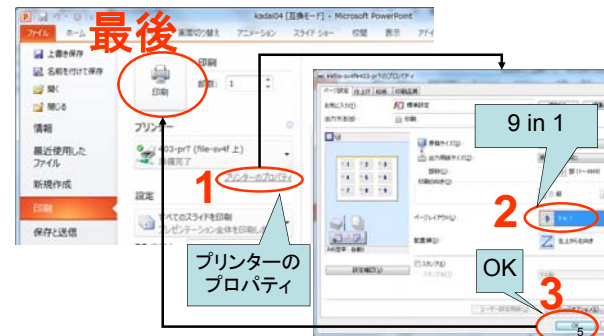
3

## 第11回演習課題

- 演習課題を実行し、講義Webサイトから、回答用紙をダウンロードし、PowerPointで作成して、9分割印刷して提出しなさい。
  - 課題名に: 第\_\_回演習課題と入れなさい
  - ✂切: 来週演習開始時
- 「情報検索演習」、「第\_\_回演習課題: 新聞記事・統計の探し方」、「時限」「学籍番号」、「名前」、「提出年月日」を忘れずに記入すること

4

参考: 9ページをまとめて一枚として印刷する方法※



※鶴見大学 402教室,403教室のパソコンでのやり方です。

6

## オンライン・データベース

- タイトルなどから検索できる
- 記事の全文をテキストで閲覧できる/検索できる
- 有料のことが多い

## 聞蔵IIビジュアル\*

- 朝日新聞の新聞記事検索サービス
  - 全文検索、見出し検索など様々な検索項目あり
  - 記事全文が閲覧可能
- 使い方
  - 鶴見大学図書館のトップページから「聞蔵IIビジュアル」
  - <http://library.tsurumi-u.ac.jp/library/index.html>
  - 使い終わったら必ずログアウトすること!

\*大勢が一度に使えないので、演習なし

8

## 新聞社のWebサイト

- 新聞記事とほぼ同じ内容のニュース(同内容のこともある)を閲覧・検索可能
- 例: asahi.com(朝日新聞)、毎日新聞
- 紙の新聞記事そのものの検索は有料のことが多い

## 朝日新聞のWebサイト asahi.com

- <http://www.asahi.com/>
- 社説と天声人語が1日分閲覧可能
- ニュースとして日々刻々と更新
  - 紙の新聞記事そのものではない(内容が多少異なる)
  - あくまでもニュース
- サイト内検索
  - asahi.com内を検索(ニュース検索が可能)
  - なにかキーワードを入れて検索してみましょう
  - →画面イメージをPowerPointへ

9

## 毎日新聞、読売新聞

- 毎日jp(毎日新聞)  
– <http://mainichi.jp/>
- YOMIURI ONLINE(読売新聞)  
– <http://www.yomiuri.co.jp/>

10

## ニュースサイト

- インターネット上に掲載されるニュースを収集、提供するポータルサイト
- 特定の主題に特化したものもある
- 例: Yahoo!ニュース(<http://news.yahoo.co.jp/>)、Google!ニュース(<https://news.google.com/>)、ITmedia(<http://www.itmedia.co.jp/>)
- 演習: Yahoo!ニュースになにかキーワードをいれて検索してみましょう  
– →検索結果の画面イメージをPowerPointへ

11

## 新聞の縮刷版\*

- CD-ROMや冊子体がある。オンラインで見られるものもある。
- 広告なども見られるのが特徴
- タイトル、テーマなどから検索できる

\*コンピュータ教室からアクセスできないので、具体例の紹介、演習はしない 12

## 新聞所蔵目録

- 求める新聞をどこで所蔵しているかを確認できる総合目録が便利  
– 国立国会図書館サーチ <http://iss.ndl.go.jp/>  
– CiNii Books <http://ci.nii.ac.jp/books/>
- 検索例:「日本教育新聞」を所蔵している図書館を調べたい(縮刷版ではなく原紙)  
– CiNiiBooks:「詳細検索」、タイトル:「日本教育新聞」、タイトル完全一致に☑をいれる、「雑誌」を選ぶ、「検索」  
– 「日本教育新聞」の詳細結果を表示  
– →画面イメージをPowerPointへ

13

## 現在の新聞および新聞社に関する情報

- 現在発行されている新聞、および新聞社に関する情報についてすることのできる情報源  
– 雑誌新聞総カタログ  
– 日本新聞年鑑  
– 日本新聞協会 <http://www.pressnet.or.jp/>  
– 日本専門新聞協会 <http://www.senmonshinbun.or.jp/>  
– P.93【例題3】を実行し、  
→③の実行結果をPowerPointに

14

## 新聞・ニュースデータベースの使い分け(まとめ(1))

- オンライン・データベース(有料Webサイト)  
– 200?年?月ごろに起きた児童殺傷事件についての新聞記事を読みたい  
– 2005年5月5日に起きた事件についての経過を知りたい
- 新聞社Webサイト(無料Webサイト)  
– ???についての最近のニュースを知りたい
- ニュースサイト  
– あるテーマをまとめて検索したい

15

## 新聞・ニュースデータベースの使い分け(まとめ(2))

- 新聞の縮刷版  
– 2004年1月3日の社会面にある広告を知りたい  
• Web上にあるサイトでは、新聞の紙面自体は閲覧できないので、縮刷版を見る必要がある
- 新聞所蔵目録  
– どの図書館にその新聞が所蔵されているかを知りたい
- 現在の新聞および新聞社に関する情報  
– 現在、発行されている新聞を知りたい

16

## 統計の特徴とそのアプローチ

- 統計的なデータは統計索引を活用する
- 以下の情報資源を利用する  
– 統計年鑑  
– 年鑑  
– 白書  
– (統計を中心とした)便覧  
– ファクトデータベース

17

## 総務省 統計局・政策総括官(統計基準担当)・統計研修所

- <http://www.stat.go.jp/>
- 総務省が管理する統計を公開
- 国勢調査、人口推計、日本統計年鑑、日本の統計、世界の統計などの統計の一覧をExcelで提供
- 統計に関する情報を見たいときは最初にみるべきサイト
- 日本統計年鑑の最新版が閲覧可能  
– 下部の「日本統計年鑑」リンクをクリック  
– 「本書の内容」をクリック  
– 日本統計年鑑の表紙、統計総目次等が表示される  
→ Powerpointへ  
– 各目次をたどると、統計データがExcelで入手できる

18

## 政府統計の総合窓口

- <http://www.e-stat.go.jp/>
- 各省庁が公開している統計表を総合的に検索できる
  - “統計データを探す”の「キーワード検索(条件指定)」リンクをクリック
  - “キーワード入力”の”AND検索”に「インターネット 人口」を入力
  - “調査年月指定”をクリック、“調査年の範囲を指定する”にチェックを入れ、「20xx年」から「20xx年」までにする。
    - 20xx:は昨年にする
  - “検索”ボタンをクリック
  - 「作成機関」をクリックすると、説明が閲覧できる→[PowerPoint](#)へ
  - 調査名のリンクをクリックすると、実際の統計データへのリンク等がある→[PowerPoint](#)へ

19

## 白書・年次報告書等

- 白書、年次報告書、年鑑にある統計情報がある
- 「電子政府の総合窓口」に、白書等へのリンクあり(サイトマップ→白書、年次報告書等)
  - [http://www.e-gov.go.jp/link/white\\_papers.html](http://www.e-gov.go.jp/link/white_papers.html)
  - 全文や要旨へのリンクがある。
- 演習:任意の白書等の統計情報の画面を表示させる→[PowerPoint](#)([白書名](#)、[たどった方法](#)など簡単に説明をつける)

20

## 専門分野の統計情報

- 日本図書館協会:日本の図書館統計
  - <http://www.jla.or.jp/library/statistics/tabid/94/Default.aspx>
- 最高裁判所:司法統計
  - <http://www.courts.go.jp/search/jtsp0010>

21